

抄 録

北海道大規模放流事業後の東北海域南部における マツカワ漁獲特性

和田敏裕・神山享一*・島村信也**・村上修***・
美坂正***・佐々木正義***・萱場隆昭***

Fishery Characteristics of Barfin Flounder *Verasper moseri* in Southern Tohoku, the Major Spawning Ground, after the Start of Large-scale Stock Enhancement in Hokkaido, Japan

Toshihiro WADA, Kyoichi KAMIYAMA, Shinya SHIMAMURA, Osamu MURAKAMI,
Tadashi MISAKA, Masayoshi SASAKI and Takaaki KAYABA

Fisheries Science 80 (6), 1169-1179 (2014)

2006 年以降の北海道大規模放流事業により東北各県のマツカワ漁獲量は増大している。2007～2011 年にかけて、主産卵場である東北海域南部における漁場位置、全長組成、性比、年齢構成を解明した。漁獲量増大が顕著な東北海域南部の漁獲時期は 1～4 月に集中した。底曳網漁船の操業日誌分析により、大陸棚斜面上部（年平均 267～299m）が主漁場と特定された。漁獲物の全長組成は雄（モード約 40cm, ≥ 1 歳）および雌（60cm, ≥ 2 歳）による二峰型を示した。雌の割合は 1.5～7.9%と低かった。本研究は、北海道放流群の産卵回遊に伴う東北海域への波及効果を示した。

* 福島県水産課

** 福島県農業総合センター

*** 地方独立行政法人北海道立総合研究機構水産研究本部